



発行所 〒604-8577
京都市中京区烏丸通夷川上ル



京都新聞社
The Kyoto Shimbun Co., Ltd.
© 京都新聞社 2011年

http://kyoto-np.jp/
番号案内・受付 075(241)5430
読者応答室 075(241)5421
ご購入・配達 0120-464-468

福知山出身 日本画家 佐藤太清 身近に

孫、エッセー 画文集出版



佐藤太清氏の作品に合わせてエピソードをつづった画文集を発刊した孫の安田晴美さん

福知山市出身で文化勲章受章者の日本画家・佐藤太清氏(1913〜2004年)の風景画に、孫で青山学院大院生の安田晴美さん(44)―東京都―がエッセーを寄せた画文集が、このほど出版された。安田さんが25年間共に暮らした祖父の創作姿勢や知られざる一面をつづり、巨匠が目指した作品世界を追体験できる構成となっている。

創作姿勢、逸話つづる

題名は「アートエッセイ がつづる佐藤太清 光彩の旅」で、太清氏の絵画21点を選び出し、それぞれに思い出や逸話を著す構成。初期の代表作で淡い緑にチヨウを描いた柔らかな

色彩の「清韻」には「なぜ親のいない寂しさや戦争体験のみじめさを作品にぶつけようとしなかったのだろう」と問い、画家として成功する前の人生をたどる。

また、集大成とされる名作「雪つばき」では、厳しさを知るがゆえに家族が絵の道に進むことを嫌った太清氏が、まねてツバキを描こうと悩んでいた幼い晴美さんに「写生というのはすべて見たままに描けばいいのだ。そして、自分が何を描きたいかを知っていることが大事なのだ」と初めて語ったという助言を書き記している。

昨年は太清氏の作品に長女で詩人の佐藤雅子さん(68)が詩を付けた親子の詩画集を出したが、孫との共同作品の発刊は初めて。晴美さんは「生誕100年を再来年に控えて佐藤太清という日本画家を身近に伝えたい。この本で作品に親しみを込めて鑑賞される方が増えれば」と話している。1050円。淡交社 ☎075(432)5151。

(千葉紀和)